

やさしいまち

# みやしろ だより 議会

No.131  
2024.8.1



楽しく学ば、スマ活!!  
(すてっぶ宮代)



宮代町議会HP  
QRコード

令和6年度一般会計補正予算 定額減税の補足と新型コロナ定期ワクチン接種の実施!!	2
マイナンバーカードと健康保険証の一体化	4
町の考えを問う 一般質問に13人が登壇	6
町民と議員との議会懇談会	14
町民の声・編集後記・9月議会のお知らせ	16

# 補足と新型コロナ ン接種の実施!!

4億3,822万円

6月定例議会は、5月30日から6月12日まで14日間にわたって開かれました。町長から専決処分承認、令和6年度一般会計補正予算や令和6年度国民健康保険特別会計補正予算、条例の改正や人権擁護委員の候補者の推薦など、10件が提案され、審議の結果、原案のとおり、すべて承認・可決・同意しました。

一般質問では、13人の議員が質問に立ちました。

## 一般会計補正予算

定額減税を補足する調整給付及び住民税非課税世帯などへの支援金の給付。新型コロナウイルスワクチン定期接種実施に要する費用のほか、児童数増加に伴う学童保育所運営経費の増加が主な内容です。

〈賛成11、反対2で可決〉

## 主な質疑

**問** 物価高騰対策支援金調整給付事業の電算帳票作成

**業務等委託料と給付金受付業務委託料の説明を。**

**答** 支給対象者に対する通知の作成と印刷、封入、封緘に関する業務を行う業者への委託料となる。また、受付業務委託は給付金の給付について、受付業務を委託するため、その予算になる。

**問** 委託先において、難解な調整給付にしっかりと対応してもらえるか伺う。

**答** 調整給付の可能性のある方が1092人であり、しっかりと対応してもらう。

## 補正予算の主な事業

保健予防事業	新型コロナウイルスワクチン定期接種の事業（秋冬に実施予定）
物価高騰対策支援金調整給付事業	定額減税を補足する調整給付（最大4万円/人）
学童保育所運営事業	いちょうの木分室、ふじ第一児童クラブでの受入児童数の拡大
公民館管理運営事業	和戸公民館第2駐車場の返却に伴う工事と駐車場の新規確保



定額減税の補完事業を支える福祉課と税務課

# 定額減税の 定期ワクチ

## 一般会計補正予算

**問** 児童保育所運営事業の指定管理料の委託料700万円について、積算の内訳を伺う。

**答** ふじ児童クラブの1クラスを今回増設するため、その必要な経費となる。支援員3人分の人件費とそれに伴う社会保険料、健康診断の福利厚生費などになっている。

**問** 生命に関わる重大な事業として、新型コロナウイルススワクチン定期接種事業への町の考えを伺う。

**反対討論**  
野原 洋子議員  
わずか3年間で、コロナウイルススワクチンによる死亡が453件。インフルエンザワクチンの265倍である。感染による重症化よりも、ワクチン接種のリスクが明らかで、定期接種事業に反対する。

**答** これまでどおり、新型コロナウイルスワクチン接種についての勧奨は、積極的に行っていないと考えている。

**問** ワクチン接種の副反応、健康被害が生じたときの情報提供や相談体制の充実などが重要と考えるが、町の見解は。

**答** 接種時にチラシを配布しているが、広報やホームページには載せていない。今後その点もしっかり広報し、周知していきたいと考えている。

**賛成討論**  
土淵 保美議員  
福祉課所管の物価高騰対策支援金の支給は、非課税世帯・均等割のみ課税世帯・子育て世帯加算(18歳以下)の方に對して、現在の物価高騰への生活負担軽減策と捉えて私の賛成討論とする。

**問** 和戸公民館第2駐車場地は、どのような状態にして返却するのか。また、代替の駐車場確保についての説明を伺う。

**答** 駐車場は、元は更地の状態であったので、原状に戻すため、アスファルト舗装やフェンスの撤去などの工事を行う。代替の駐車場については、月極めの駐車場を借りる方向で、調整している。またまった台数が確保できるといった条件の合った物件になっている。

**賛成討論**  
塚村 香織議員  
児童保育所運営事業982万円は、高学年の継続や夏休み期間の受け入れ確保の整備であり、子育て世代を応援する事業である。保護者の負担軽減として夏休みのお弁当注文も要望し、賛成する。

# マイナンバーカードと健康保険証の一体化

賛成10、反対3で可決

補正予算の内容は、マイナンバーカードの保険

証利用について、医療機関が利用するシステムの資格情報と町が保有する資格情報を突合するためのシステム改修などを行うために、446万8千円を追加するものとす。

## 主な質疑

**問** どの医療機関で使えるのか。

**答** 2023年の4月を期限とし、全国の医療機関にオンラインシステムで確認できる顔認証つきカードリーダーを導入することが決まっている。その後、半年間の猶予期間があり、現在では原則全ての医療機関でカード

リーダーと顔認証システムが入っている。

**問** 現在マイナンバーを取得されている方が何%いるのか。

**答** 令和6年3月31日現在で、取得率が81・2%である。国民健康保険の3月現在の加入者数は6348人いて、マイナンバーカードを保険証として利用している登録者は3779人。登録率は59・5%となっている。

**問** 双子の場合、iPhoneなどでは顔認証で両方開いた。マイナンバーカードはどのぐらいの精度か。

**答** 把握していない。  
**問** プライバシーやセキュリティについては、どのようになっているのか。

**答** 落としたマイナンバーカードを仮に取得した人がいても、本人以外は、税・年金・医療などの個人情報を引き出すことはできないことになっている。ICチップから不正に情報を読み出そうとすると、ICチップが壊れて読み出せない仕組みとなっている。

マイナンバーカードを利用して個人情報を見ることができないのは、手続を行う行政職員しかいない。

**問** 個人情報の漏れについては、住民課としてどのように考えるか。

**答** 住民課は、個人情報を扱っているというのを全職員が把握しており、意識高く業務に当たっていると考えている。

## 反対討論

野原 洋子 議員

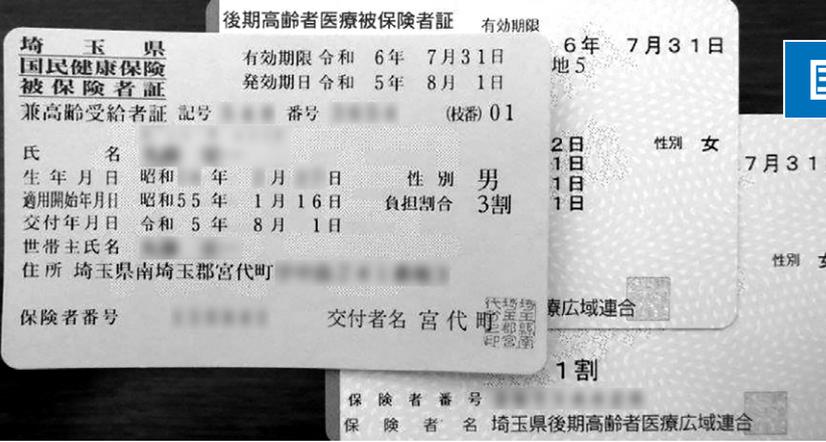
現在の保険証がなくなることの弊害や全国的に発生しているマイナンバーによるトラブルを考えると、個人情報の漏えいやリスクを冒してまで現在の保険証を変える必要がないと考え、反対する。

## 反対討論

佐藤 将行 議員

マイナンバーカードに對しての信頼性が低く、従来の保険証を廃止しなければならぬ理由よりも、情報漏えいなど、ネガティブなマイナスの要因の方が非常に大きい制度と考え、反対する。

政府は、紙の「保険証を廃止」する方針を打ち出しました



宮代町学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正

〈全会一致で可決〉

いちょうの木児童クラブ分室について、入所児童数が定員に達する見込みであることから、今後の入所児童数の増加や夏休み短期入所児童の受入れに備えて、定員を30人から60人に拡大するもの。

主な質疑

問 学童保育の今後の見通しは。

答 令和5年度で、いちょうの木については130人の定員と見込んでいたが、おおむね推計どおりとなっている。

問 東小学校から分室に行くところの道が狭く、空き家もあり、交通量も多いが、安全対策は。

答 車の通行量は少し多いが、指導員が十分交通安全に配慮して対応している。空き家の方は、庁

内の関係各課と調整し、今後も子どもたちが安全に通行できるように対応をしていきたい。

問 横断歩道の設置は難しいか。

答 注意喚起をするような形で検討したい。

問 ふじ、かしの木、かえで児童クラブの今後の推計は。

答 かしの木、かえで児童クラブは、120人定員のところ約85人なので、夏休みなどの短期入所を受け入れても十分に合うと考えている。ふじ児童クラブは、定員280人で、現在240人いるが、クラスを増やすことによって対応は可能と考えている。

賛成討論

丸山 妙子 議員

働く保護者が多くなってきた。今回、夏の短期入所に備えてしっかりと対応できるようにしている。学童保育の定員増に賛成する。

専決処分の承認（宮代町税条例の一部を改正）

〈賛成11、反対2で可決〉

個人住民税については、令和6年度分の個人住民税所得割から納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき1万円を減額するもの。

反対討論

丸藤 栄一 議員

定額減税は岸田首相の目玉政策としていたが、個人住民税の1万円1回限り。これでは生活困窮に苦しむ町民を支えることにならない。

人権擁護委員の候補者の推薦

〈賛成12、反対1で可決〉

任期は令和7年1月1日〜令和9年12月31日（3年間）。



つるみ さちこ 鶴見 祥子 氏

訂正 前号（130号）12ページ上から2段目の丸藤栄一議員の反対討論の中で年額6,580円は誤りで、65,800円に訂正します。

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 — 議長は表決に加わらない

議案番号	議案名	主要内容	無党派 6人						公明党 2人		令和新風の会 5人					議長 田島 正徳	
			佐藤 将行	丸藤 栄一	丸山 妙子	福澤 和美	野原 洋子	金子 正志	小島 あけみ	泉 伸一郎	鈴木 次男	合川 泰治	塚村 香織	土淵 保美	川野 武志		
27	専決処分の承認を求めること	※ P5	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	専決処分の承認を求めること	都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	専決処分の承認を求めること	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	学童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	※ P5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	こども家庭庁設置法の施行に伴い条文を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	町道路線の廃止	用途廃止申請に伴う町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	町道路線の認定	用途廃止申請の対象地外の町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること	※ P5	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	令和6年度一般会計補正予算（第1号）	※ P2～3	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	※ P4	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 町の考えを問う!



一般質問とは、各議員が町の政策に対し、その執行の状況や将来の方針などについて報告を求めたり、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質問することです。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたダイジェストです。詳しくはQRコードより録画配信をご覧ください。

## 一般質問項目一覧

### P7 土淵保美 議員

- ① 地域防災力
- ② 宮東・中島地区圃場整備事業
- ③ 集会所運営

### 鈴木次男 議員

- ① 須賀小学校の地域拠点施設
- ② 都市計画事業整備計画

### P8 泉伸一郎 議員

- ① 豪雨災害対策と気象防災アドバイザー
- ② 学校施設の老朽化対策
- ③ 進修館の駐車場整備
- ④ 総合病院誘致への取組

### 合川泰治 議員

- ① ふるさと納税を活性化しよう
- ② はらっパーク宮代を夜間利用できるようにしたい
- ③ 宮代町消防団へのアンケート結果をどのように活用するか
- ④ 災害時の安否確認を迅速に行うために

### P9 野原洋子 議員

- ① 宮代町いじめ防止等のための組織に関する条例、及び宮代町いじめ防止基本方針の改正後の状況は
- ② 脱炭素政策のメリットデメリットは
- ③ 役場庁舎屋外喫煙スペースは

### 塚村香織 議員

- ① 学校は安心安全な場所になっているのか伺う
- ② 特別支援学級の名称について
- ③ ギガスクール構想第2期へ向けてのビジョンは
- ④ 介護予防・日常生活支援総合事業の拡充を

### P10 丸山妙子 議員

- ① 子どもの権利条約
- ② 夏の猛暑時、須賀小学校の体育館での体育の授業等は可能か
- ③ 和戸横町の久喜寄りの土地の工事の予定と進捗の状況
- ④ 子どもの紙おむつの定額制を

### 小島あけみ 議員

- ① 高次脳機能障がい支援の充実
- ② クーリングシェルターの開設
- ③ HUG（避難所運営ゲーム）の活用
- ④ 子どもを守るアプリ「コドマモ」

### P11 金子正志 議員

- ① 法人住民税
- ② 普通交付税の推移
- ③ 町内3駅の乗降客数
- ④ 小売業年間販売額、製造品出荷額
- ⑤ 各指標の推移
- ⑥ 終戦80周年事業
- ⑦ 人件費が上がり続ける理由を
- ⑧ 合併の必要性

### 川野武志 議員

- ① 防犯灯や道路照明等の増設
- ② 三世代がつながるまちづくり
- ③ 自主財源確保

### P12 丸藤栄一 議員

- ① 「個別避難計画」の作成
- ② 規模の大きな水害対策

### 福澤和美 議員

- ① 避難行動要支援者支援制度
- ② こども家庭センター設置
- ③ ゼロカーボンシティ実現に向けて

### P13 佐藤将行 議員

- ① 【宮代町1億円問題】に象徴される、税金の無駄遣いに関して
- ② 【宮代町まちづくり基本条例】及び【情報公開】に関して
- ③ 【町内循環バス】及び【宮代型デマンド交通事業（高齢者等タクシー助成事業）】に関して

一般質問は6月4日、5日、6日の3日間で行いました

※項目一覧の順番は抽選順です。

※白抜き数字は掲載された質問、それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。

# 当町の圃場整備事業の進捗は 本年4月県営事業としてスタート



つちぶち やすみ  
土淵 保美 議員



今年4月県営事業として行う宮東・中島圃場地区

**問** 進捗状況並びに今後の農機具などの管理問題や、埼玉県による整備終了後に不具合場所が出たときの町の対応は。

**答** 産業観光課長

本年度は用地測量を実施し、地権者に立ち会ってもらい境界確認を行う。同時に圃場や水路、道路などの詳細設計を行い、来年度から工事に入る。農機具など管理問題について

は、組合の役員の方と連携・調整を図り、地元の方へ丁寧に説明し、整備完了後の不具合の修繕などは、町が対応する。

**集会所運営**

**問** 地域活性化の観点から、集会所の安定的な利用の確保や集会所用地の安定的確保についての対策は。土地所有者も様々だが、町所有の場合の借地料はあるのか。

**答** 町民生活課長

豊かな地域づくり推進事業費補助金制度の活用、活動や管理に対する金銭的支援や備品などの貸出を行うこと。  
また、担当職員が区長・自治会長宅を訪問し、課題解決に向け検討を行う支援をしている。町所有の場合の借地料はない。

# 須賀小学校地域拠点施設の進捗は 地域コミュニティの核となる場



すずき つぎお  
鈴木 次男 議員



移設後にどうなる和戸公民館！

見込んでいます。  
**問** かねでの木はどのようになるか。

**答** 教育推進課長

残すことが望ましいが、未来の子供たちや地域の方々にとって最適な施設配置を優先したい。

**問** 和戸公民館の移設後の跡地は。

**答** 教育推進課長

移設後の建物及び土地の取り扱いについては、現時点では何も決定していない。

**都市計画道路整備**

**問** 和戸駅東口通り線の整備はいつか。

**答** まちづくり建設課長

和戸駅に続く和戸駅東口通り線は、短期整備路線として、第5次総合計画に位置付けられていない。

そのため優先順位を見直す際には、次に整備する路線を検討する。

**問** 総建設事業費は。

**答** 教育推進課長

近年建築された学校の面積単価から積算すると40億円台を

# 豪雨災害対策の強化への取組は 訓練実施と情報共有で事前対策へ



いずみしんいちろう  
**泉 伸一郎** 議員



真剣に取り組む、職員による避難所開設訓練

**問** 豪雨災害対策の取組と気象防災アドバタイザーの採用は。

**答** 町民生活課長

避難所開設訓練を年1回実施。予報情報をもとに適宜情報を共有し、事前対策に備える。気象防災アドバタイザーについては、講演会や防災イベントなどへの起用を検討していく。

**問** 学校の老朽化対策  
**問** 学校施設の老朽化

**答** 教育推進課長  
昨年、すべての施設について職員の目視による緊急点検と専門家による建築物や設備の点検を実施。緊急度に基づき、計画的に改修していく。

**駐車場拡張工事**

**問** 進修館の駐車場整備の進捗は。

**答** 町民生活課長

4つの工事を計画している。現在は樹木伐採伐根工事を実施中。工事完成は令和7年3月の予定。

**問** 総合病院誘致への現状と取組は。

**答** 健康介護課長

必要病床数の増加はなく、依然として厳しい状況である。今後も情報収集や要望活動を続けていく。

**問** 町長

病院誘致を願い、関係機関へ交渉する。

# ふるさと納税の活性化を 商工業者や農家と連携して取組む



あいかわ たいじ  
**合川 泰治** 議員



町の特産品が大ピンチ このままでもいいのだろうか？

**問** 特産品である巨峰が衰退傾向にある。

巨峰栽培は昭和30年頃に開始され、平成6年に36軒あった巨峰生産農家は平成30年で20軒、令和6年には15軒にまで減っている。

また、巨峰生産農家の平均年齢は72歳で後継者がいるのは5軒となっている。その対策は。

**答** 観光産業課長

特産として巨峰を

維持していく。

そのために、各種補助金などを活用してもらおうとともに、技術指導や研修会など、関係機関と協力し、必要な対策を講じていく。

**問** はらっパーク宮代を夜間利用できるようにしたいが、課題や見解は。

**答** まちづくり建設課長

日常的な夜間利用は難しいと考えている。しかし、大規模な大会などの準備や片づけに利用したい場合には、協議の上、貸出を行っている場合もある。

そのため、大規模なイベントや大会などの場合に限り、主催者による明るさなどの安全確保や公園管理者の承認、そして近隣住民の理解を得ることができれば可能である。

# 条例施行後のいじめ対策と解消は 積極的認知で生徒に寄り添い解消



のほら ようこ  
**野原 洋子** 議員



若年層の自殺率は深刻。早期発見が大事

**問** いじめ防止等のための組織に関する条例施行後のいじめ件数、対策と解消は。

**答** 教育推進課長 令和4年度は554件、令和5年度は564件と増加している。積極的な認知により被害児童・生徒に寄り添い425件は解消。

**問** 加害者への対応は。

**答** 教育推進課長 総合的なメニューが作れるようなら実施したい。

**問** 教育的配慮のもと、毅然とした態度で指

**答** 町長 脱炭素政策と人権

## 脱炭素政策と人権

**問** 庁舎太陽光発電設備は人権デューデリジェンス※に配慮しているか。脱炭素政策は、見せかけの環境配慮にならないか。

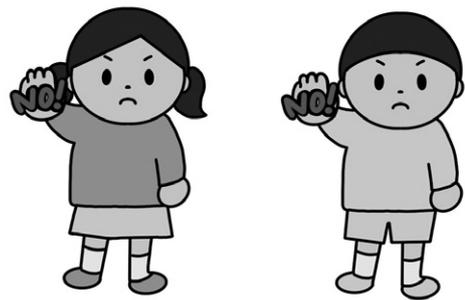
**答** 環境資源課長 人権尊重のガイドラインの遵守を呼びかけ、区域施策編にグリーンウォッシュ対策を位置づける。

※人権デューデリジェンスとは…企業の事業における人権リスク（強制労働など）を防止・情報開示する一連の行為

# 学校は安心できる場所なのか 環境を整える努力をしている



つかむら かおり  
**塚村 香織** 議員



嫌なことをされたら我慢しないで「ノー」を言う

## インクルーシブの視点

**問** 小学校の特別支援学級の名称が、幼い印象を与え、偏見に繋がるという意見があるが。

**答** 教育長 児童が混乱しないよう検討を重ねたと聞いていますが、意見を真摯に受け止め、保護者から意見を聞くことは可能である。

## 移動支援サービス

**問** 介護保険の申請前段階でも、日常生活や移動支援が必要な方がいる。来年度、地域包括センターが2拠点になるが訪問型サービスを整備する考えは。

**答** 健康介護課長 今後ニーズは増えていく。まずは、活動団体のニーズ調査や説明会を開催。

**問** 令和5年度、小中学校いじめ認知件数564件。学校における心理的安全性を高める事は重要だが、率直な意見が言えるクラスづくりはしているか。

**答** 教育長 学習指導要領による年間35時間の道徳の授業や、特別活動の中で自分の意見や気持ちはどう伝えるかなどを指導し、育んでいる。

※心理的安全性を高めるとは…勇気づけや、言われて傷ついた言葉や振る舞いを共有し行動変容を促すこと

# 和戸横町の工事予定と信号設置を 9月から環境・安全に配慮し開始



まるやま たえこ  
**丸山 妙子** 議員



地域住民を交通事故から守る信号機の設置を

**問** 和戸横町の工事着工期間は。

**答** まちづくり建設課長 令和6年9月1日から8年5月31日。

**問** 地元要望の信号機の設置は。

**答** 町民生活課長

信号機については警察に申し送る。現段階では注意喚起看板の設置を検討する。  
**問** 騒音などの対策は。  
**答** 環境資源課長 騒音や照明の困り事は当課に相談を。

**子どもの権利条約**

**問** 世界中、すべての子どもたちが持つ人権（権利）を定めた条例、町ではどう活かされているか。

**答** 教育推進課長

須賀・前原中学校では、生徒手帳に「子どもの権利条約」について記載。部活動への加入や練習参加は、個々の考えの元に決め進めている。

**須賀小学校体育館**

**問** 猛暑への対応は。

**答** 教育推進課長

須賀中学校の体育館を使えるよう調整を行う。

**保育園での**

**紙おむつ定額制**

**問** 紙おむつなど定額制サービスの導入は。

**答** 子育て支援課長

アンケートの実施など、調査研究する。

# 高次脳機能障がいへの支援充実を 障がい特性の理解・啓発を図る



こじま  
**小島 あけみ** 議員



埼玉県総合リハビリテーションセンター

**問** 高次脳機能障がい者への支援体制は。

**答** 福祉課長

高次脳機能障がいについての理解・啓発を図り、相談しやすい体制を整備していく。今後は、重層的支援体制整備事業の実施を検討していく。

**熱中症対策**

**問** クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の開設は。

**答** 健康介護課長

「熱中症特別警戒アラート」が発表された時に、町内の公共施設（ぐるる総合運動公園、役場庁舎、町立図書館、保健センター、進修館、すてっぷ宮代）をクーリングシェルターとして指定し、町民に開放する準備をしている。

**HUG訓練**

**問** 避難所運営が疑似体験できるHUG（避難所運営ゲーム）を防災会の研修や学校での防災教育などに活用する考えは。

**答** 町民生活課長

過去に町職員を対象に実施したことがある。身近で有効なツールと認識しているので、いろいろな防災研修の中に取り入れたいと考えている。

# 終戦 80 周年事業の考えは 平和の尊さを次世代へ



かねこ ただし  
**金子 正志** 議員



杉戸駅構内に大きな防空壕が作られた (昭和 19 年頃)

**問** 来年は昭和100年、終戦80周年を迎える。平和記念事業を行う考えは。

**答** 総務課長

恒久平和を訴えるとともに、終戦80周年であることを広く知らせていく。戦争の悲惨さや、平和の尊さを次世代へ伝えるための取り組みなどを行っていく。

## 法人町民税収

**問** 法人住民税を比べ

**答** 産業観光課長

5市2町となった令和4年では、「小売業年間販売額」「製造品出荷額」とも7位(最下位)。

## 自主財源比率の推移

**問** 自主財源比率は。

**答** 企画財政課長

平成元年度 64.9% ↓ 令和2年度 コロナ禍の経済対策の影響により 35.7%。

と宮代町は近隣市町に比べ、極端に低く財政基盤は弱い。最新の数字を伺う。

**答** 税務課長

令和4年度では、杉戸町は17番目、宮代町は61番目。

## 商業・工業は

**問** 平成の合併前の小

売業販売額、製造品出荷額は、近隣9町で最下位のレベルであった。改善は。

令和4年では、「小売業年間販売額」「製造品出荷額」とも7位(最下位)。

も7位(最下位)。

# 防犯灯や道路照明灯など増設は 必要性を審査し柔軟に対応する



かわの たけし  
**川野 武志** 議員



暗い夜道に欠かせない、防犯灯や道路照明灯

**問** 一戸一灯運動への参加呼びかけは。

**答** 町民生活課長

一戸一灯運動は「宮代町防犯計画」に掲げており、防犯灯だけでは夜道を明るくするのは難しい。そのため、一戸でも多くの世帯に理解してもらおうように引き続き周知していく。

## 三世代が繋がるまちづくり

**問** 親世帯と子供世帯

が町内の近くに住んだり、同居したりする世帯を対象とした住宅支援事業は。

**答** 企画財政課長

孤立した世帯同士が繋がりをもち、高齢者と子育て世帯などの新たな交流が生まれ、助け合いと共生の社会に繋がることを期待される。

**問** 他市町を参考にした補助金の創設は。

**答** 企画財政課長

県内12市町が同様の補助金を創設している。今後の呼び水として検討する。

## 自主財源確保

**問** 新たな財源確保に向けた取り組みは。

**答** 町長

ふるさと納税は特化したチームで取り組み、企業誘致は開発希望の企業が出てきているため、直接会って話をしている。

# 命を守るために早めの避難計画を しっかり取り組んでいきたい



がんどうえいち  
**丸藤 栄一** 議員



「逃げ遅れゼロ、犠牲者ゼロ」の防災対策を

**問** 災害対策基本法の改正（2021年）により、2025年度までに「個別避難計画」を作成することが市町村の努力義務とされた。作成はできたのか。

**答** 健康介護課長

に29団体中、個別避難計画書の提出が済んだ団体は19団体という状況である。

**問** なぜ進んでいないのか。

**答** 健康介護課長  
様式が複雑で、自主防災組織の方の理解が進まずにいるので遅れている。

**問** 個別避難計画書の作成の遅れは、命にかかわる問題だ。

**答** 町長  
個別避難計画ができるように、しっかり取り組んでいきたい。

## 大規模な水害対策は

**問** 町民への情報を早く知らせ、避難誘導、災害を未然に防ぐ、そういう体制が必要ではないか。

**答** 町長

情報提供の速さ、判断の速さは、今後も大事なことで守っていききたい。

# 災害時の避難行動要支援者支援は 仕組みを改善し、9月に周知する



ふくざわかずみ  
**福澤 和美** 議員



日頃の挨拶や見守りが災害時の支援につながります

**問** 避難行動要支援者支援制度の現状は。

**答** 健康介護課長

令和6年4月現在の登録者数は581名。自主防災会より個人情報取り扱いや負担が大きいとの理由で、登録者名簿を受領した自主防災会は56団体中29団体のみ。9月に仕組みを改善し、各自主防災会や民生委員へ丁寧な説明と理解を深めていく。

## こども家庭センター

**問** こども家庭センター設置の理由は。

**答** 子育て支援課長

子育て家庭に対する相談・支援を実施し、虐待予防や子育てに困難を抱える家庭を切れ目なく、漏れなく対応するため設置。母子保健と児童福祉の両機能が集約でき、効率的かつ迅速な対応・支援が可能。

## ゼロカーボンシティ 実現に向けて

**問** 久喜市新ごみ処理施設でのプラ焼却に伴うCO2増加量は。

**答** 環境資源課長

352ト増加するが、熱回収による発電を活用することで、プラ再資源化にかかるとCO2排出量より削減されるものと見込んでいる。

# 事業検証が行えるような改善は？ 検証はしない



さとう まさゆき  
佐藤 将行 議員



議会広報委員会の協議の結果、不適切と判断したため、掲載を見送りました。

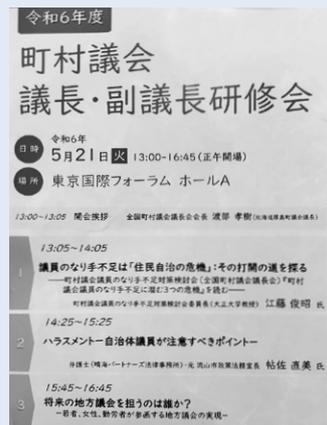


たじま まさのり  
田島 正徳 議長

## 全国町村議会の研修

5月21日に東京国際フォーラムで開催された、全国町村議会議長会主催の研修会に泉副議長と参加しました。現在、「町村議会議員のなり手不足」が問題になってきています。実際に2月に実施された宮代町議会議員選挙でも定数14名でプラス1名の立候補者となり、ギリギリの選挙となりました。今後無投票・定数割れが、同じペース

で増え続けると仮定した場合、日本全国の34%の町村議会が無投票になる可能性があるとの事です。同時に「ハラスメント」自治体議員が注意すべきポイント、「将来の地方議会を担うのは誰か」という内容の研修を受けました。町職員・議員同士に対するハラスメントに関して、宮代町議会においても、勉強会を実施しています。6月25日には、埼玉県町村議会議長会で宮城県大和町議会に、「これからの大和町議会のあり方プロジェクト」を視察に伺いました。今後も様々な視察研修の成果を宮代町議会で活用していきます。



全国町村議会議長会の研修会資料

同時に「ハラスメント」自治体議員が注意すべきポイント、「将来の地方議会を担うのは誰か」という内容の研修を受けました。

# 予算増の理由と ごみ処理問題

5月11日（土）、図書館ホールで「第31回町民と議員との議会懇談会」を開催しました。予算特別委員会委員長が審議の内容を報告した後、参加した15人の住民の皆さんと議員により、意見交換を行いました。  
町に対する質問は、後日、回答を得ました。



## 一般会計予算

**問** 町の予算が12.9億で、昨年度から12.7%増加の理由は。

**答** 防災の避難所として計画している中学校体育館へのエアコン設置の8億円、こども医療費の無償化を18歳まで引き上げるなど積み上げてこの予算となっている。  
**問** 子育て世帯への支援は拡充されているが、高齢者向けの支援が行われていない。議員の考えを伺う。  
**答** 高齢者等タクシー助成事業では、利用増加のため予算を増加。フレイル防止の体操なども行っている。高齢者支援を進める包括支援センターはマンパワーが足りない状況であり、2カ所に増加しサービスの向上を図っていく。

**問** 町債が14.2%増とあるが、将来的に返済の目処はあるのか。

**答** 防災に関する補助金が令和7年度までであり、体育館エアコンを本年度に設置すれば7割が地方交付税として戻る。全国的に駆け込みでやっている。

## 町からの回答

前年から14.6億円増加。その要因としては、①社会保障関連経費が3億円弱の増加。②須賀小学校再整



体育館のエアコン設置は「防災力の強化」

備で2億円、町直営での可燃ゴミなどや、し尿収集による清掃費で2.5億円、都市計画道路整備で1.6億円である。近年の夏場の酷暑を考えると、「防災力の強化」と「教育環境の改善」を合わせて実現する体育館のエアコン整備は、将来にわたって負担を均す意味合いがある。

## 循環バス

**問** 社会福祉協議会が西原自然の森に移転し、役場から遠くなった。今の循環バス経路では前より時間がかかる。経路の変更はなぜか。

**答** 要望により、もとむらクリニックのバス停が増え

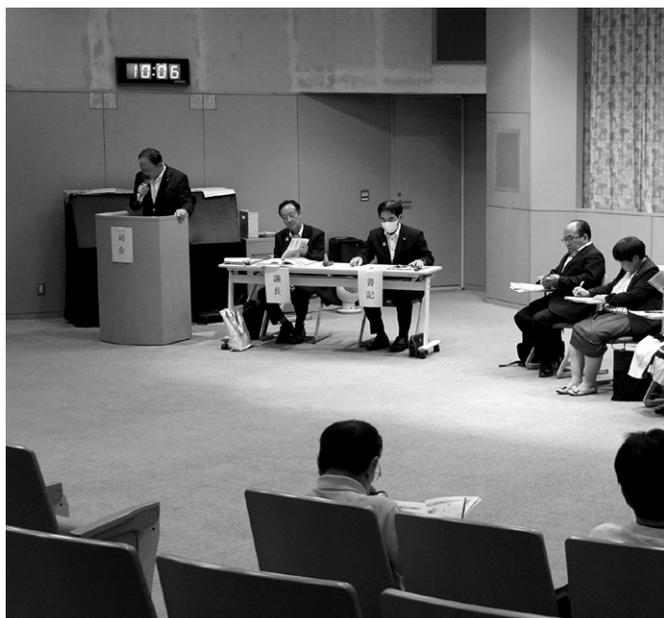
たこと。地域公共交通会議で話し合われているが、今後一般質問で取り上げる。

## 危険な五差路

**問** 東小学校付近の五差路の交差点は大変危険である。事故も起きており、安全度を高めてもらいたい。

**答** この交差点は県道であるため、県に要望しているが、県土整備事務所からこれ以上の改善工事はできないと回答を受けている。今後町と県と警察に働きかけていく。  
**問** 投票率を高くする改善と、若い世代が政治に興味を持つてもらうための新しい工夫は。

**答** 選挙広報の配布を郵送やEメールで周知など、改善をするべきである。  
**答** 学校教育の場で、



選挙に携わることの大切さを教えるべきと考  
える。期日前投票がで  
きる場所を増やしたい。

## 不登校への 取り組み

**問** 不登校問題を相  
談する場合、議員に連  
携をとってもらえるか。  
**答** 町と議会に繋げる  
ように、気軽に相談し  
てもらえる体制をつく  
りたい。

## 進修館の 無断駐車問題

**問** 進修館駐車場に半  
年無断駐車した人がい  
たそうだが、料金を請  
求しないのはおかしい。  
新風の会と公明党の考  
えは。

**答** 町が顧問弁護士に  
相談したところ、裁判  
になると高額費用が発  
生するため請求しないと  
聞いている。

## ごみ処理の負担

**問** 新ごみ処理施設の  
宮代町負担が心配。詳  
細を知りたい。

**答** 建設費は約422  
億円で当町の負担額は  
30・7億円。町の負  
担割合は、人口割から  
処理量割に移行された。  
減量化を進めることで  
町の負担を減らすこと  
ができる。

**問** 新炉建設までに衛  
生組合の焼却施設が使  
えなくなった場合、ど  
うなるか。

**答** 令和8年には近隣  
市町の連携で処理、そ  
れ以前は民間の施設を  
利用することになる。

## 町からの回答

久喜市と令和5年12



(仮称) 久喜市新ごみ処理施設



自治会での防災セミナー

月28日付で「費用負  
担等に係る基本協定  
書」を締結。建設費  
の実負担は30・7億  
円、施設運営費用は20  
年間で31・1億円。令  
和9年4月からは年間  
3億200万円を負担  
します。新ゴミ処理施  
設において安定したゴ  
ミ処理を継続できるよ  
う準備する。

## 自治会の運営

**問** 高齢化もあり、自

自治会運営が厳しい。町  
としてできることは。

**答** 災害時の助け合い  
など、隣近所の働きが  
大きい。防災面で話を  
して繋がりを持てるよ  
うにしたい。

**問** 自治会と自主防災  
会を別とし、仕組みを  
変えることも必要。

## 総合病院誘致は

**問** 病院誘致につい  
て、現在の取り組みや  
状況を伺う。

**答** 利根医療圏の  
ベッド数が増加して制  
限が緩和され、一步進  
んだ。

## 希望するテーマ

- ▼子育て
- ▼医療・介護
- ▼高齢者の生きがい対策
- ▼小中学校の適正配置
- ▼駅周辺の開発
- ▼合併問題
- ▼町の財政状況
- ▼人口減少対策

## 自由意見

- ▼懇談会をYouTube  
で動画配信を願う。
- ▼議員懇談会場を各地  
区の集会所にしては。
- ▼司会進行を外部の第  
三者に任せたらどうか。
- ▼開催時間が短い。

参加者の皆様、  
ご意見をありがとうございました。  
次回の開催方法  
については、現在  
検討中です。



# 町民の声



もりもと きみえ  
森本 君江 さん  
(本田)

1961年に横浜から移住してきた頃の宮代町は今とは違い、一面に田畑が広がっていました。一方県道は、砂利道でもあまり通らず、我家の周りに家は殆どない有様でした。  
それから、63年の月日が流れました。  
大学や動物園ができ、また、駅前が開発などにより店舗が増え便利になり、景色の変化には驚くばかりです。もっとも、県道の交通量の増加には閉口しています。今後、春日部方面へ開通となれば、渋滞の激化が心配です。発展に伴うマイナス面を感じると、かつての

のどか  
長閑な宮代が懐かしくさ  
え想います。  
お店を開いたときは、  
宮代の良さ・面白さを多  
くの方々にアピールした  
いと考えました。  
そこで店外に告知板を  
設置して、毎月最新の情報  
提供を行っております。皆  
さんにはとても評判です。  
最近では、日本工業大  
学の学生さんによる「ス  
マホ・パソコン相談」の  
紹介がとても好評です。  
一方、和戸や姫宮の方々  
からは「近くの公民館で  
行って欲しい。」といった  
声があります。  
今後は、こういった方々  
のこともお考えいただき  
たいと思います。



**表紙の写真紹介**  
「スマホ・PCなんでも相談会」が、今年もすてつが宮代で開催されました。  
この相談会は、日本工業大学が社会福祉協議会と開催し、情報メディア工学科の学生さんが授業の一環として町民からの相談に応じてくれます。無料でも予約不要ということから、「気軽に聞ける」と毎回大変喜ばれています。  
次は、10月から12月に開催の予定です。



## 9月議会を傍聴しませんか

9月議会の予定は  
**8月29日(木)午前10時開会**  
場所 議場(進修館小ホール)

一般質問は  
**9月4日(水)・5日(木)・6日(金)**

「こんにちは県議会です」(テレ玉)  
★8月25日(日) 午前10:00～



左から丸藤議員、泉委員長、野原委員、佐藤副委員長、鈴木委員

**編集後記**  
先日、みやしろ議会だよりをより良くしたいと考え、他の自治体の議会だよりをインターネットで探してみました。  
広報コンクールで表彰された栃木県高根沢町は、随所に町民の方の写真やご意見が掲載されていて、とても温かみがあるなあ、と感じました。  
また、同県的那須町では、議会だよりを右綴じから左綴じへ。さらに、縦書きから横書きへと、常に積極的な改善を行っている姿勢が感じられ、大いに共感致しました。  
今回の議会だよりでは、両町を参考に紙面のQRコードを増やしてみました。  
さて皆様、読みやすく改善されたでしょうか。  
(佐藤)